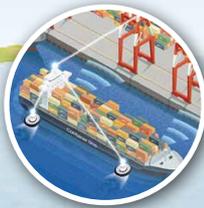


2025年

# 自動運航船の実現に向けて

事故の起こらない、安全な船を目指して



第20回

海上技術安全研究所

# 講演会

令和2年

12/10 13:30  
17:20

Webセミナー

講演プログラム：6講演



事前登録サイト

<https://www.nmri.go.jp/webinar.html>



## 基調講演・外部講演

13:35~

### 基調講演

国土交通省 海事局 大臣官房技術審議官 さいとう ひであき  
**齋藤 英明**



#### ■講演タイトル

### 自動運航船の実用化に向けて～開発実証と基準戦略

#### ■講演者プロフィール

1989年4月に運輸省に入省。経済協力開発機構(OECD)エコノミスト、日本貿易振興機構(JETRO)ロンドン・シブ・センター次長、国土交通省海事局の国際基準調整官・環境渉外室長・船舶産業課長を歴任し、船舶の安全・環境基準と造船の産業政策の立案と国際交渉に携わり、現職に至る。

2018年にはアジア人として初めて国際海事機関(IMO)の海洋環境保護委員会議長に選出され、日本提案を中心に検討が行われた国際海運の温室効果ガス(GHG)削減目標やその実現のための対策等を包括的に定める「GHG削減戦略」の採択に尽力。

### 外部講演 ①

日本財団 常務理事 うんの みつゆき  
**海野 光行**



#### ■講演タイトル

### 無人運航船の実現に向けて

#### ■講演者プロフィール

1990年に大学卒業後、日本財団(当時:日本船舶振興会)に入会。国内の福祉事業や財団の広報を経験した後、海洋部門に配属。以降17年にわたり国内外の海洋に係るプロジェクトを経験。2011年からは常務理事として海洋部門を統括し「次世代に海を引き継ぐ」をテーマに事業を展開している。

### 外部講演 ②

Microsoft Chief Digital Adviser たざわ たかゆき  
**田澤 孝之**



#### ■講演タイトル

### マリタイムトランスポートインダストリでのDX

#### ■講演者プロフィール

デザイン思想家、DXコンサルタント。キャリアのスタートは日立製作所。外資系企業数社を経て現在はMicrosoftで、業界30年以上のIT/デジタル業界の経験を生かし、DXの知見と人間中心のデザインを掛け合わせて、変革のためのビジネスデザインから実現のロードマップ策定などのカルチャー変革を含めたコンサルティング業務に従事している。

## 研究講演

15:25~

### 研究講演 ①

まじま たかひろ  
**間島 隆博** (知識・データシステム系)



#### ■講演タイトル

### 自動運航船の実現に向けた避航操船技術の研究開発

#### ■講演者プロフィール

1992年4月入所、2017年7月に、知識・データシステム系・系長に就任。これまでに海洋汚染物質の環境影響評価システム、輸送システムに関するネットワーク最適化、船舶運航管理情報システム、災害時輸送シミュレータの研究開発などを手掛けた。

知識・データシステム系は、海事産業に係るAI、IoT、Big Dataといった最新技術を通じてイノベーションを駆動することを任務とし、重点課題の一つが自動運航船に係る研究開発である。本講演では、自律運航システムの中で、避航操船に係る技術を中心に報告する。

### 研究講演 ②

すずき りょうすけ  
**鈴木 良介** (流体性能評価系)



#### ■講演タイトル

### 操船シミュレータのための波浪中操縦運動・船体動揺推定モデルの開発

#### ■講演者プロフィール

2013年4月入所、流体性能評価系 運動性能研究グループ所属。これまでに荒天下の操船評価手法の開発、走錨防止支援システムに関する研究開発などを手掛けた。

本講演では、操船シミュレータに組み込むことを念頭に開発した「波浪中を航行する船の操縦運動と船体動揺を推定するための6自由度船体運動計算法」に関する計算法、規則波中35度旋回時と保針航行時の船体運動の推定結果ならびに模型試験による比較検証、今後の展望及び課題について報告する。

### 研究講演 ③

ひらた こういち  
**平田 宏一** (自動運航船プロジェクトチーム)



#### ■講演タイトル

### 海技研における自動着棧システムと要素技術の研究開発

#### ■講演者プロフィール

1967年東京生まれ。1992年4月、当時の運輸省船舶技術研究所 機関動力部に研究官として入所。組織変更を経て、現在、海上技術安全研究所 GHG削減プロジェクトチームリーダー、さらに環境・動力系 動力システム研究グループ長に併任。

入所後、排熱利用システムや船用ディーゼルエンジンの排ガス浄化システム、水素燃料電池船などの研究開発に従事した。本講演では、当所が進めている自動運航船に関する研究紹介として、小型実験船による自動着棧システムの実船試験や画像認識などの各種要素技術の進捗状況について報告する。

## 海上技術安全研究所 第20回講演会 オンライン開催につきまして

今般の新型コロナウイルス感染拡大を受けて、例年開催しております「海上技術安全研究所 講演会」については、感染防止を目的として、ウェビナー形式でのオンライン開催にて実施致します。ソリューションには、Zoom Webinarを使用し、Zoomをインストールすることなく、WebブラウザからZoom Webinarを使用可能です。(一部機能に制限がありますが、講演のご視聴には問題ございません)

参加費は無料ですが、事前の登録をお願い致します。

事前登録サイト：<https://www.nmri.go.jp/webiner.html>

なお、大変恐縮ではございますが、運営の都合上、参加人数を500名とさせて頂きましますので、お早めの登録をお願い致します。

### WebセミナーにZoomをインストールせずWebブラウザで視聴する方法

Zoomからの招待Mailに記載されたURLをクリックしますとウェビナーのページに移行します。画面には、

Zoomクライアントをインストールしている場合、ミーティングを起動か、Zoomをダウンロードして実行してください。

アプリケーションをダウンロードまたは実行できない場合は、ブラウザから起動してください。

が表示されておりますので、こちらの「ブラウザから起動してください」をクリックするとZoomをインストールすることなくWebブラウザで視聴することが可能です。



国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所  
**海上技術安全研究所**  
NMRI National Maritime Research Institute



代表/総合案内

総務部総務課総務係

TEL: 0422-41-3013 FAX: 0422-41-3026

広報

企画部広報係

TEL: 0422-41-3005 FAX: 0422-41-3258

〒181-0004 東京都三鷹市新川6-38-1 E-mail: info2@m.mpat.go.jp HP: <https://www.nmri.go.jp>